

2016年3月卒者(大学・大学院卒) 「新卒者採用に関する追加調査」 集計結果報告

公益財団法人就職支援財団が、県内企業の2016年3月卒業予定の新卒者(大学・大学院卒)採用活動の8月時点での状況について調査いたしました。

調査の趣旨

この調査は、静岡県内企業における新卒採用活動の現時点での進捗状況を収集し、学校・学生へタイムリーに情報を展開することで、今年度の企業の採用活動、学生の就職活動への対応策提言の資料としていく。

調査要領

■調査対象

静岡県内企業の経営者もしくは人事担当者

従業員数: 49名以下31.8%、50～99名26.4%、100～299名26.0%、300名以上15.9%

業種: 製造業33.7%、建設業12.0%、卸売・小売業20.2%、サービス業26.6%、その他7.5%

■調査期間

2015年8月10日～2015年9月4日

■調査方法

2015年3月実施「新卒者採用に関する実態調査」(しずおか産学就職連絡会)の調査票送付先2,500社に調査依頼文を郵送し、WEBサイトにてアンケート回答

■有効回答数

466 サンプル (有効回答率 18.6%)

※集計は、調査対象のプロフィール以外、非該当・不明を除いて実施。また、小数点以下第2位を四捨五入して表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

<調査に関する問い合わせ先>

公益財団法人 就職支援財団

担当: 鈴木

TEL 054-271-3111

【総括】	3P
【調査結果】	
Ⅰ. 2016年3月卒者(大学・大学院卒)の採用活動実施状況	4P
Ⅱ. 採用活動終了企業の活動実績	6P
Ⅲ. 選考プロセスにおける状況の前年度比較	7P
Ⅳ. 学生からの内定承諾への対応	10P

＜概況＞

新卒採用スケジュール後ろ倒しの影響からか、従業員規模や業種問わず、一般的に採用活動は前年よりも厳しさを増している。～企業の採用活動はこれからが本番で、長期戦となりそうな状況

- ①採用活動を継続している企業の割合が前年よりも増加しており、採用意向のある企業のうち、8割の企業が現在も採用活動を継続している。(図表1、2)
- ②前年は活動継続率が5割を割っていた「製造業」「卸売・小売業」の継続率も、7割に上昇している(図表3)。
- ③現在募集している業種で一番多いのは「製造業」で、前年まで最も多かった「サービス業」を上回った(図表4)。
- ④すでに採用活動を終了した企業も、終了した時期は直近の8月が最も多く、内定辞退の懸念からか9月以降活動を再開する可能性があると考えている企業の割合も増加している(図表8、9、10)。
- ⑤前年に引き続き7割弱の企業が、前年よりも採用活動が厳しくなったと感じている。特に従業員規模が大きくなるにつれてその傾向が強まっている(図表11、12)。
- ⑥選考過程の中で、前年と比べて最も厳しいと感じたのは「応募者数」の確保であった。特に従業員規模の小さい企業ほど、その傾向が強かった(図表13、14)。前年と比較すると、従業員規模や業種問わず、一般的に6割程度の企業において、「応募者数」は減少している(図表16、17)。
- ⑦採用スケジュールが後ろ倒しされたものの、6割の企業がすでに内定を出している(図表20)。内定辞退者もすでにおり、辞退者数は前年とほとんど変わらない状態にある(図表22)。ただ、従業員規模の大きい企業では、内定辞退者の増加傾向は続いており、厳しい様子が伺える(図表23)。

＜就職活動への提言＞

求人は豊富にあるので、ハローワークを活用しながら、焦らず諦めずに活動を続けていくべき。

- ①採用継続企業、1社あたりの採用予定数ともに増加している。(図表1、2、3、6、7)
- ②現在募集中の採用情報は、ハローワークで最も多く開示されている。(図表5)

＜採用活動への提言＞

大学での求人開示や合同説明会での直接案内等、まずは学生に自社のことを知ってもらうことが重要。通常の合同企業説明会よりも、もっと新たな出会いを創出できるような仕掛けが必要ではないか。

- ①採用情報の開示先として、大学や合同企業説明会の割合は若干低い。(図表5)
- ②選考過程の中で、前年と比べて最も厳しいと感じたのは「応募者数」の確保であった(図表13、14)

※総括及び調査結果のTOPICSのコメントにある“前年”とは、“前年同時期”の調査となります。

【調査結果】

I. 2016年3月卒者(大学・大学院卒)の採用活動実施状況

<TOPICS>

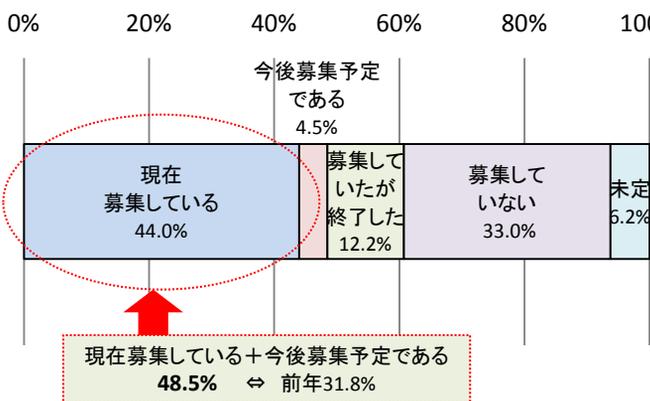
・採用活動を継続している、あるいは募集予定のある企業は全体の44%と前年よりも17ポイント上回った(図表1)。採用以降のある企業に絞ると、前年を2割程度上回る8割の企業が採用活動を継続している(図表2)。業種別では、建設業の採用継続率が9割弱と最も高いが、全ての業種で7割を超えている(図表3)。

・現在募集している企業の業種別内訳では、製造業が前年を11ポイント上回る30%と最も高く、サービス業が28%と続いている(図表4)。

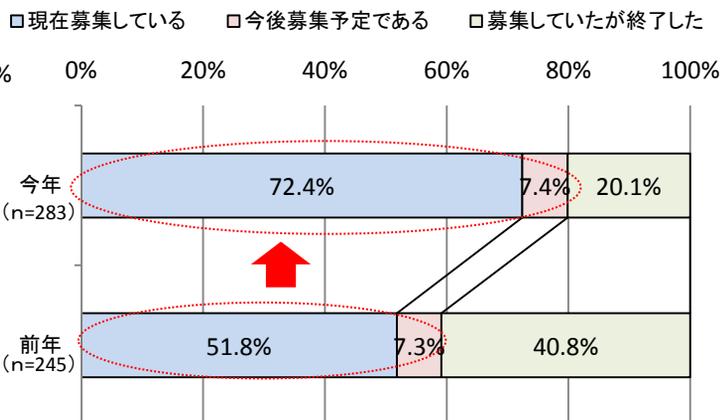
・採用情報の開示先はハローワークが22%と最も高いが、民間就職サイト、自社HPも2割超となっている(図表5)。

・9月以降の採用予定人数では、前年調査を上回る8割強の企業が「2名以上」としており、1社あたりの採用予定人数は増加している(図表6)。採用予定人数を実数で算出すると、1位のサービス業の割合が12ポイント減少し、3位の製造業が7ポイント増加している(図表7)。

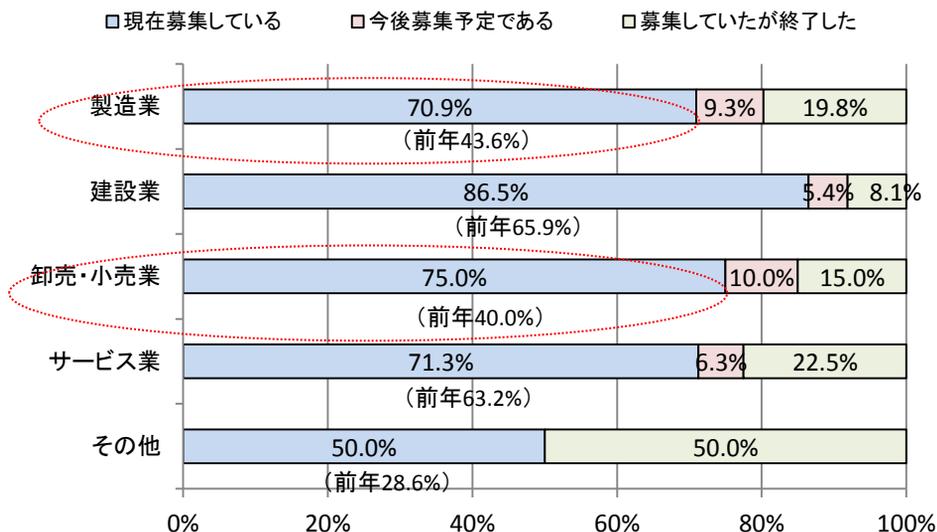
(図表1) 2016年3月卒者の採用募集状況 (n=466)



(図表2) 採用意向のある企業の活動継続率



(図表3) 業種別: 採用意向のある企業の活動継続率 (n=283)

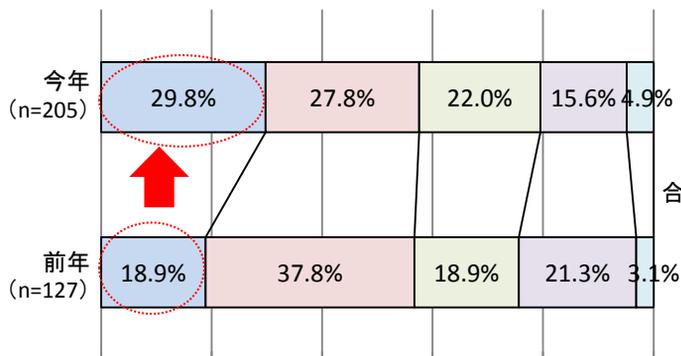


(図表4) 現在募集している企業の業種別内訳 (n=205)

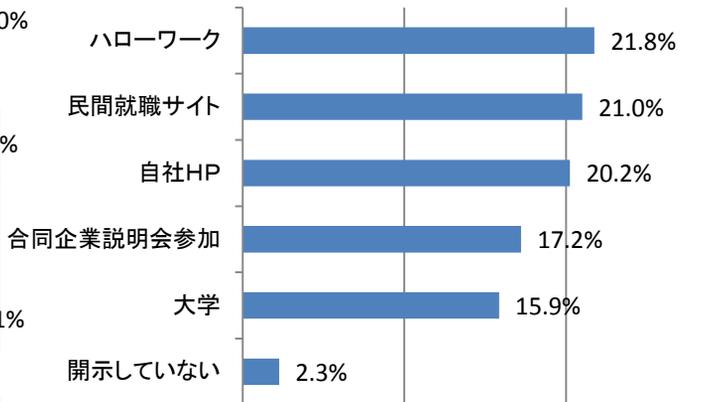
(図表5) 採用情報の開示先 (複数回答、n=242)

□ 製造業 □ サービス業 □ 卸売・小売業 □ 建設業 □ その他

0% 20% 40% 60% 80% 100%

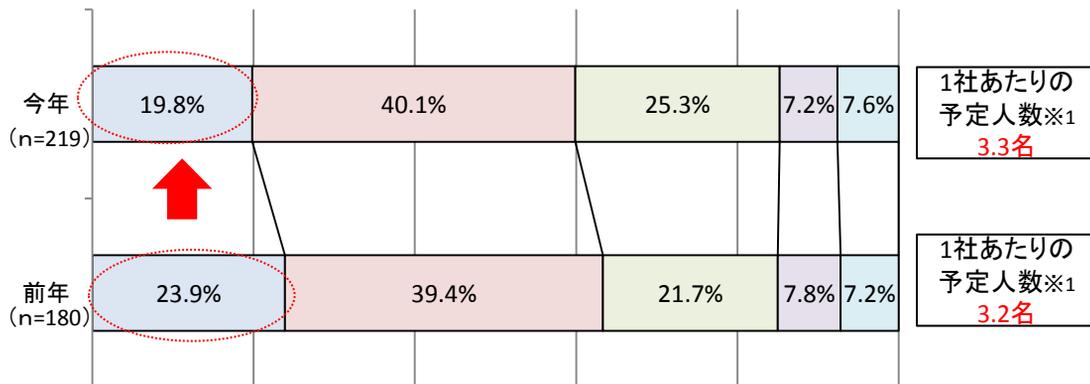


0.0% 10.0% 20.0% 30.0%



(図表6) 今後 (2015年9月以降) の採用予定人数

□ 1名 □ 2名程度 □ 3名~5名程度 □ 5~9名程度 □ 10名以上
0% 20% 40% 60% 80% 100%



(図表7) 採用予定人数実数※1における業種別割合

※1採用予定人数 × 社数で計算 (3~5名、6~9名は中間値にて計算)

□ サービス業 □ 卸売・小売業 □ 製造業 □ 建設業 □ その他

0% 20% 40% 60% 80% 100%

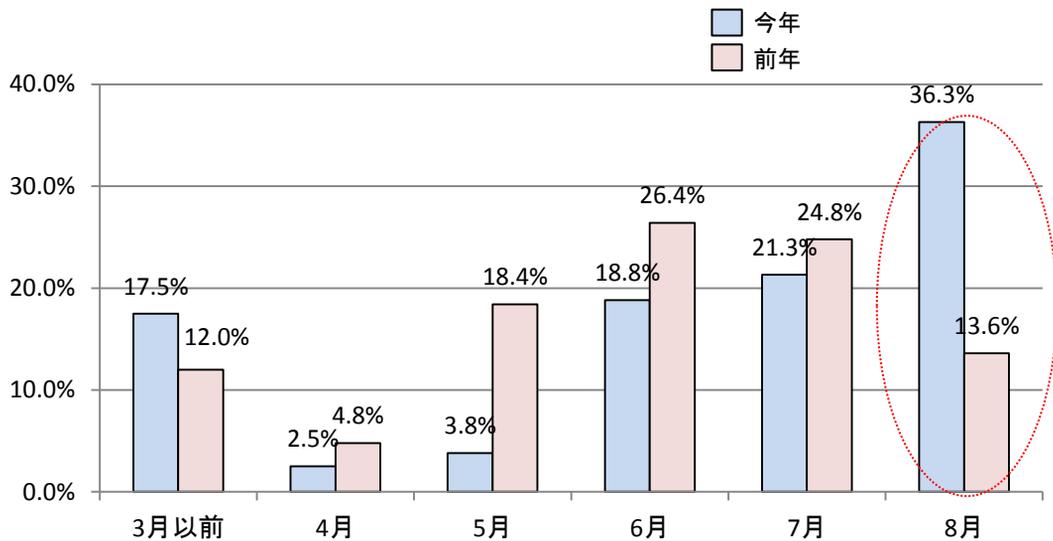


II. 採用活動終了企業の活動実績および今後の予定について

<TOPICS>

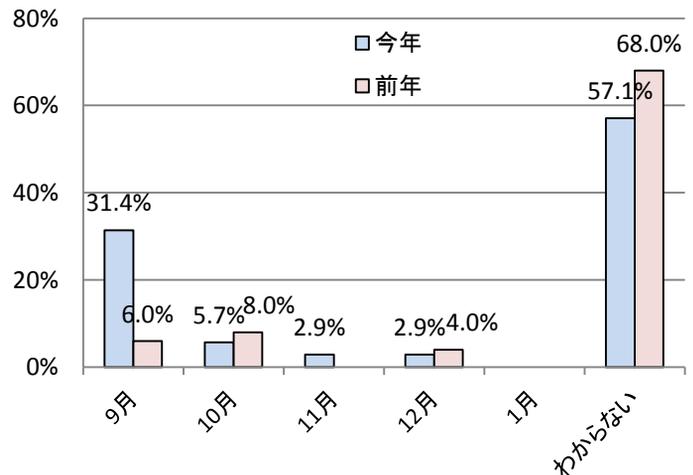
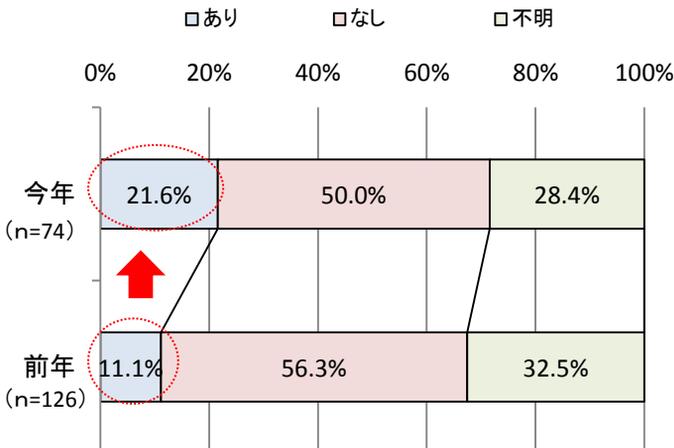
- ・採用活動の終了時期は「8月」が36%と最も多かった。前年調査と比べると、「4月」～「7月」終了した企業の割合が減少し、「3月」「8月」に終了した企業の割合が増加している(図表8)。
- ・採用活動を再開する可能性については、可能性ありとした企業が22%と、前年よりもほぼ倍増となっている(図表9)。
- ・採用活動を再開する場合の時期については、「わからない」がもっとも多いが、次に多いのは「9月」で31%となっている(図表10)

(図表8) 採用活動を終了した時期(今年n=80、前年n=125)



(図表9) 採用活動を再開する可能性

(図表10) 採用活動を再開する場合の時期

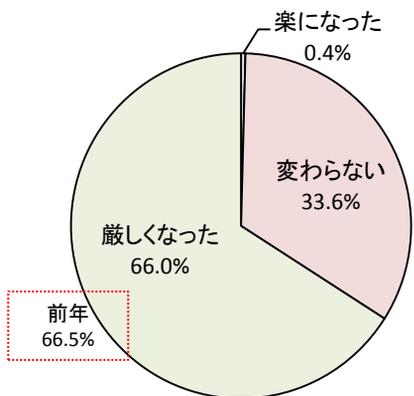


Ⅲ. 選考プロセスにおける状況の前年度比較

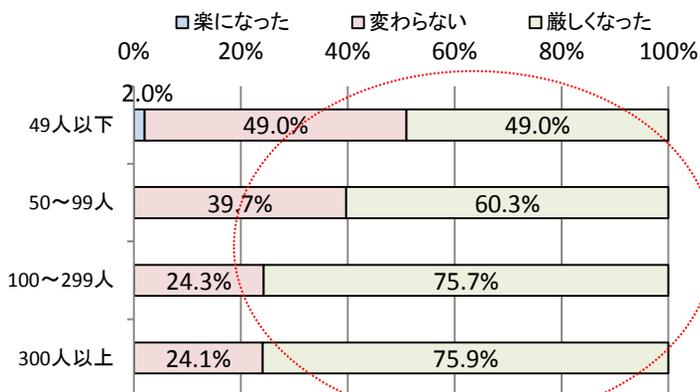
<TOPICS>

- ・前年と比較した今年の採用活動の印象は、66%が「厳しかった」と回答(図表11)。従業員規模別にみると、「厳しかった」割合が最も多かったのは、「300人以上」の企業で8割弱となっていた。従業員規模が高くなるにつれて「厳しかった」と回答する企業の割合が大きくなっている(図表12)。
- ・選考過程でもっとも厳しいと感じたのは、「応募者数」の確保で54%(図表13)。従業員規模別にみると、99人以下の企業が7割弱と、100人以上の企業よりも割合が大きくなっている(図表14)。
- ・応募者数は「前年よりも減少した」企業の割合が62%ともっとも多く、前年調査を8ポイント強上回っている(図表15)。従業員規模別でも業種別でも、全般に6割程度の企業が「前年よりも減少した」と回答している(図表16、17)。
- ・会社説明会参加者、面接者数ともに「前年よりも減少した」企業の割合が6割弱と前年を上回っている(図表18、19)。
- ・内定を出している企業は6割で、そのうち7割の企業が前年以上の内定者数となっている(図表20、21)。内定辞退者がでているのは65%(図表22)。従業員規模別にみると、「300人以上」の企業で85%が辞退者ありと回答(図表23)。
- ・内定辞退者数は「前年よりも減少した」企業が12%と、前年調査よりも2ポイント弱下回っている(図表24)。従業員規模別では、「300人以上」の企業が42%ともっとも高くなっている(図表25)。業界別では、「製造業」「サービス業」の割合が高くなっている(図表26)。

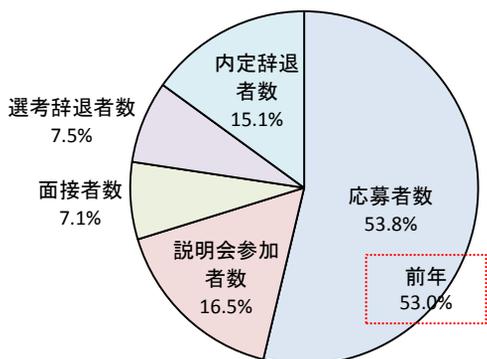
(図表11)前年と比較した今年の採用活動の印象 (n=241)



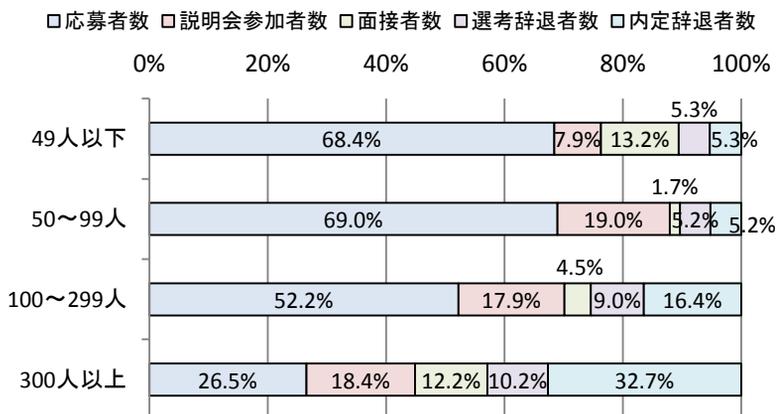
(図表12)従業員規模別:前年と比較した今年の採用活動の印象



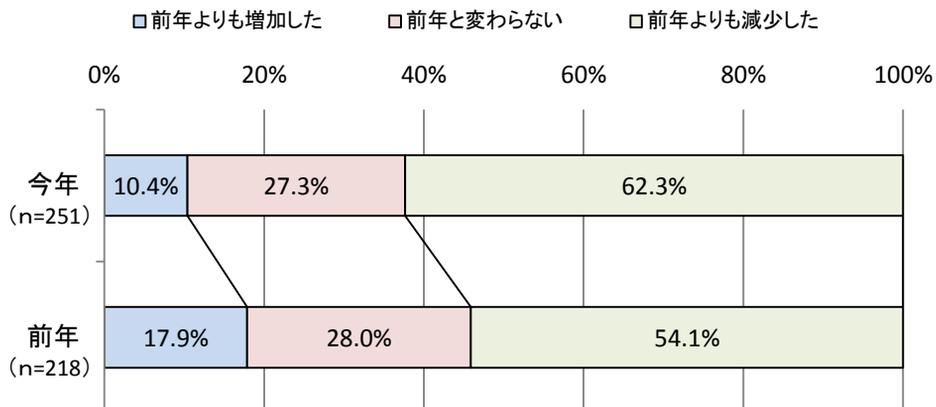
(図表13)選考過程で最も厳しいと感じたもの (n=212)



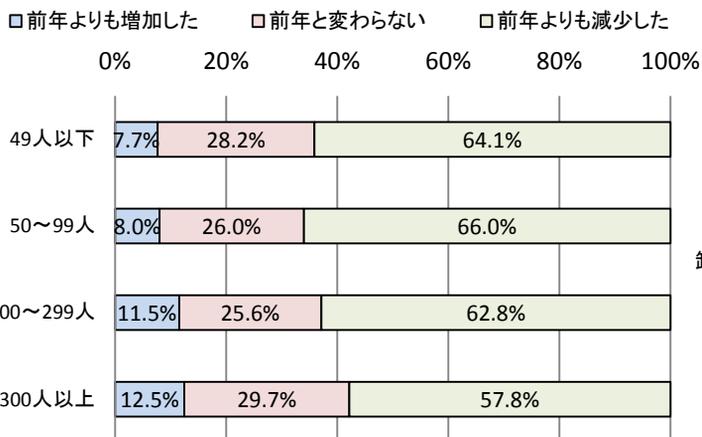
(図表14)業種別:選考過程で最も厳しいと感じたもの



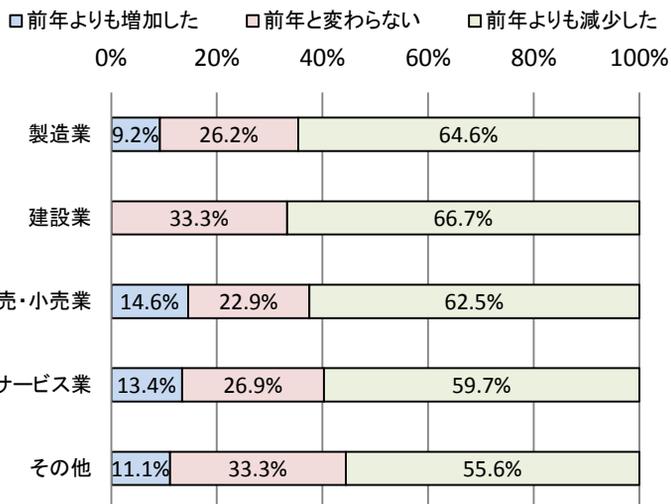
(図表15) 応募者数の前年との比較



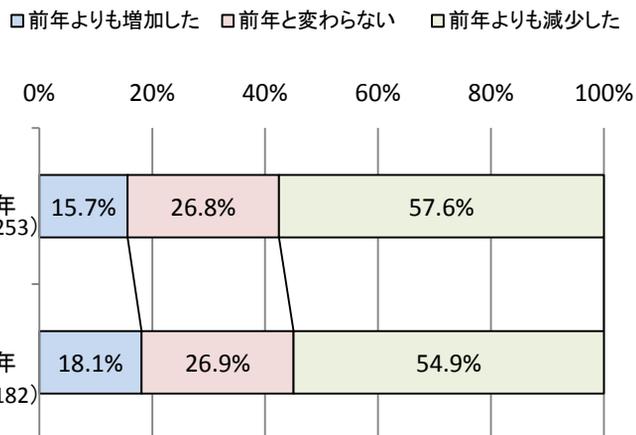
(図表16) 従業員規模別：応募者数の前年との比較



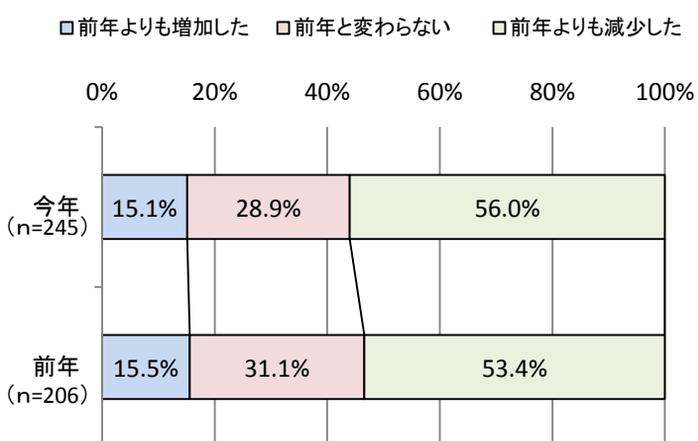
(図表17) 業種別：応募者数の前年との比較



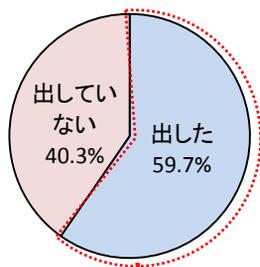
(図表18) 会社説明会参加者数の前年との比較



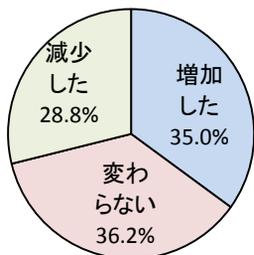
(図表19) 面接者数の前年との比較



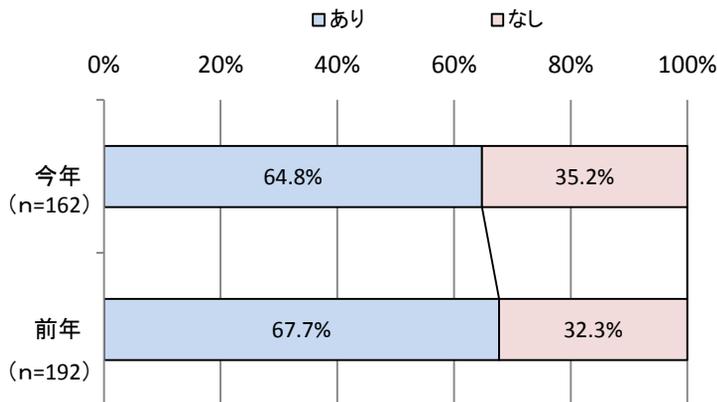
(図表20) 内定出しの有無 (n=248)



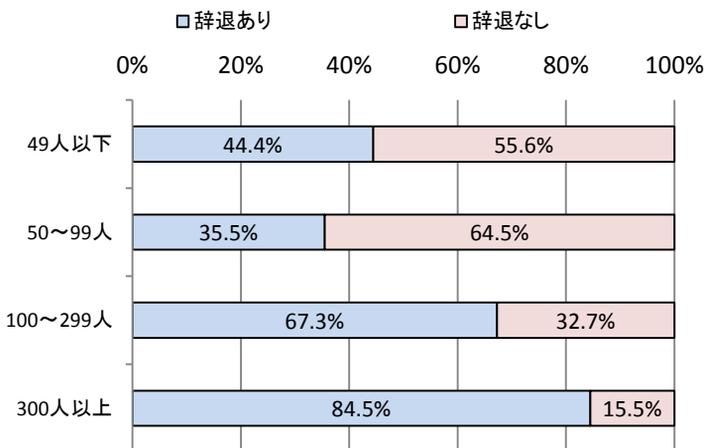
(図表21) 内定者数の前年比較 (n=163)



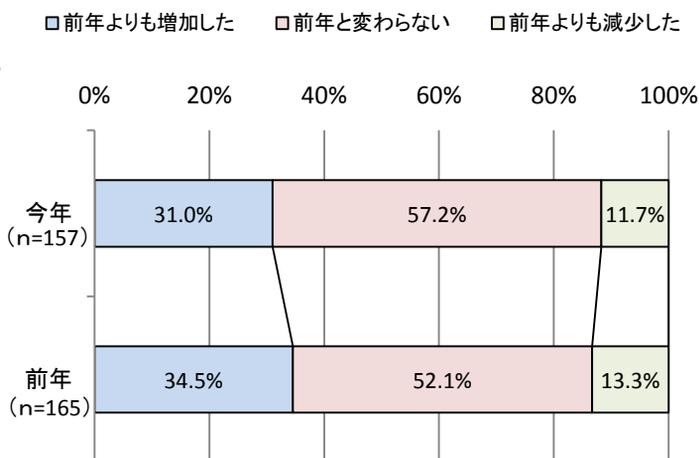
(図表22) 内定辞退者の有無



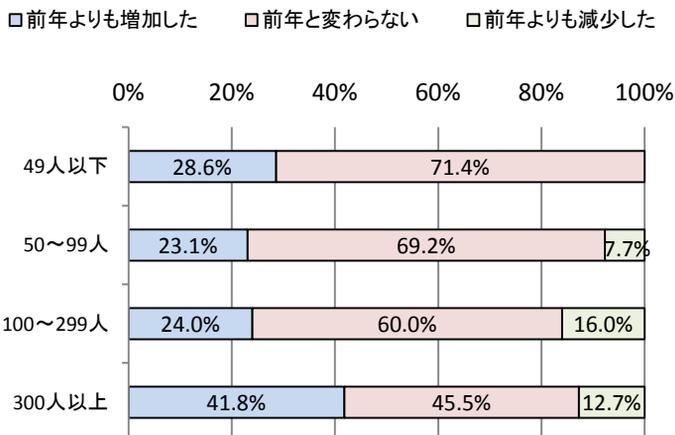
(図表23) 従業員規模別: 内定辞退者の有無



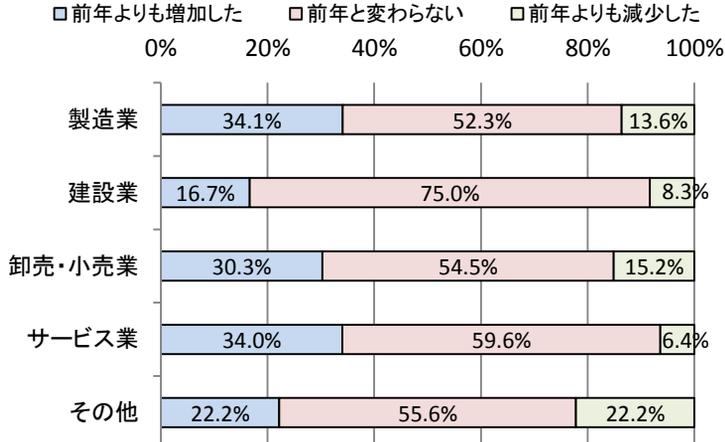
(図表24) 内定辞退者数の前年との比較



(図表25) 従業員規模別: 内定辞退者数の前年との比較



(図表26) 業種別: 内定辞退者数の前年との比較

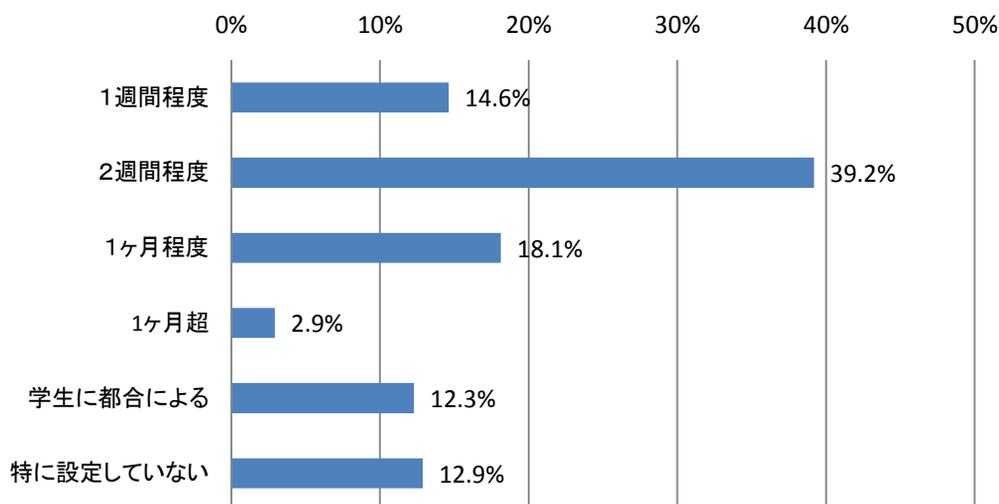


IV. 学生からの内定承諾への対応

<TOPICS>

- ・内定を出した後、学生からの内定承諾の回答期限は「2週間程度」が39%と、最も多くなっている(図表27)。
- ・内定承諾の回答期限について、学生から延長の申し出があった場合に、94%の企業が申し出に応じると回答している。「申し出通りに対応する」のが42%と最も多く、次いで「1～2週間程度なら応じる」となっている(図表28)。

(図表27) 学生からの内定承諾の回答期限(n=171)



(図表28) 学生からの内定承諾回答期限延長の申し出への対応(n=164)

